
脱出(志真サイド)

神童サーガ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

脱出（志真サイド）

【Nコード】

N4878F

【作者名】

神童サーガ

【あらすじ】

脱出の志真ちゃんの視点です。二人の名前も分ります。まだ両思いになりませんが、志真ちゃんの内心が分ります。

信じたくない。私の幼馴染みが、私を庇って撃たれた。
あれから数日たったのに、目を覚ます気配は無い。
私は、事件の日を思い出してた。

二つの銃声がした途端に、ドサツと私に何かが乗ってきた。
重いなあと場違いな事を考えていたけど、すぐに消えた。

「・・・っそ」

今見た物を忘れさせて・・・。

「和馬!!」

真綾も私と同じくしてる。まさか、空陽も撃たれたの？
なんで、そんな酷い事出来るの？

「カズマ・・・」

「ハヅキ・・・泣かないでください」

泣いてないよ。これは、ほらっ心の汗だよ！！しょっぱいもん！！

「ばーか・・・目から・・・出るんですか？・・・」

喋るな・・・。傷が酷くなる。

「・・・あっちも・・・言ってますよね？」

なにを・・・？

真綾の方を見ると、空陽が真綾の頬を触ってる。

「・・・ハア・・・ハア・・・聞け・・・」

いつもの敬語じゃない。余裕が無いんだ。
私は、頷くしか出来なかった。

「僕は・・・葉月・・・が・・・好きだ」

え？・・・嘘だ。あんなに苛めて。分った、またからかってるんでしょ？

「葉月・・・」

和馬が何か言おうとしたら、真綾が動いた。
銃を持つてんだよ！？危ないよ！！

真綾の目は、朦朧としていた。

まばたきをした途端に、真綾は消えた。

そして、気がついた時には、男は倒れていた。

真綾は倒れた。私は、心配で行こうとしたけど、先に電話しなくてはと思い、小屋を出た。

「あ・・・」

「君も捕まってたの？」

女の子がいた。私達と同じく捕まっていたらしい。

「携帯ある？私の落としちゃって」

「う、うん」

私は、携帯を借りて警察と救急車を呼んだ。
数分後に来た。私は案内した。

空陽と和馬は、救急車に運ばれた。
その様子を見ていた真綾は呆然としてた。

「タクシーも呼んだから病院行こう？」

私の言葉に、返事すらしなかった。
たぶん、耳に入っていないだろう。

真綾の肩を支えてタクシーに乗り込んだ。

真綾に、話を聞かれた。あの男を倒した出来事を……。
正直、あの時は私も焦ってたし、速過ぎて見えなかった。
あの屋敷にいたのは数名だったらしいって言ったら……。。

「あの……。嘘つきめ」

「うん……。誰も怪我が無くて良かったね」

本当に怪我人が、二人だけで良かった。救急隊員に聞いたら、大丈夫って言うてくれたから良かった。

「あの男ね・・・精神異常者だったんだって・・・自分は神だ・・・この世界を救うのは自分だって・・・」

「そんな言葉で片付けられてもね」

うん。なにが神よ……。心に負つた怪我は癒されない。
許せない。和馬に怪我を負わせた事に……。

いつの間にか病院に着いた。

私達は降りて、病室を聞いて行つた。

空陽の病室は、隣らしい。

私は、ソツと部屋に入った。

左腕にある銃の後が、生々しくない、心が苦しい。何を言ってもやれば良いのかな……。

「つ．．．和馬．．．私ね．．．．．小さい頃から守つて貰つたよね．．．高い木に登つて降りれなくなつた時も．．．犬に追いかけられた時も．．．．．そして、今も．．．」

涙が止まらない。ポタポタと和馬の手に落ちた。

「いつも……この手で……救ってくれた……ドジな私も……」

和馬の手を私の頬に触れさせる。

ゾクツとするほど冷たい手に、涙が零れた。

「好きよ・・・和馬・・・意地っ張りな・・・貴方も・・・
頑固なところも・・・いじわるなところも・・・大好きです」

私の言葉に和馬の手が、優しく耳に触れた気がした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4878f/>

脱出(志真サイド)

2011年10月5日11時20分発行